

当町では、地元森林組合を中心として森林経営計画を策定し、私有林人工林の整備を行い一定の成果はあるものの、森林所有者の高齢化や不在地主の増加のほか、林業専門職員や林業経験のある職員がおらず、今後手入れの行き届かない森林の増加が懸念されている。

このままでは土砂災害の増加が見込まれるほか、里山林の荒廃による鳥獣被害の増加や、当町が誇る観光資源にも影響を及ぼしかねず、森林整備の必要性が高まっている状況である。

○令和2年度においては、地元森林組合により、森林整備未実施地区の洗出しや過去の森林施業履歴の集約とともに、未来へつなげる森づくりに向けた業務委託を実施した。

その他、今後の森林整備や境界明確化、搬出間伐道の整備に向けた基金積み立てを行った。

○令和3年度においては、下記の事業を実施する予定。

- ① 里山林の整備を図るために木材粉碎機を購入し、地区単位での森林整備意識向上を目指す。
- ② 観光地や道路沿線の景観整備のほか、危険木、つる切りなどの伐採除去業務
- ③ 町で推奨する森林経営計画による森林整備を加速させるべく、森林環境保全直接支援事業への高上げ補助
- ④ 新規林業従事者確保に向け、新たに雇用する事業者へ1人につき10万円/月を助成
- ⑤ 保育間伐やつる切り等で不要となっている素材を加工した品物を新生児へ贈呈

□今後の予定等

- ・ 搬出間伐等に必要な林道等の維持管理や補修を推進するとともに、林専道整備も推進し、路網密度の向上を図る。
- ・ 森林の境界確認や、明確化等の測量調査や台帳等整備に関する支援。
- ・ 次世代へ森林整備の知識や技術を継承するために、各種林業研修会や教育費の支援。
- ・ 森林公園の整備を通じた、木材利用促進に関する普及活動
- ・ 針葉樹及び広葉樹の利活用と認証化に向けた取り組み

□基礎データ

①令和2年度譲与額	13,946千円
②私有林人工林面積(※1)	2907.11 ha
③林野率(※2)	86.2%
④人口(※3)	5,800人
⑤林業就業者数(※4)	19人

※1 森林現況調査(林野庁H29.3.31現在)より

※2 2015農林業センサスより

※3 H27国勢調査より

※4 H27国勢調査より